

キャラクター名
木城 雪路(キョウ ユキジ)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ サラマンダー		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	塾講師
	オプション		年齢	25	性別	女
覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	36	%
出自	名家の生まれ	経験	絶縁	邂逅	いいひと	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	46
肉体	5	0	0			5	行動値	3
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志	8		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
白熱	白兵	5r+6	4	Lv+5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
羅刹	P	N		
木城 陽葵	P 庇護	N 悔悟		
鬼城 千	P 傾倒	N 不信心		
細波白煌	P 信頼	N 不安		
彩花桜	P 庇護	N 不安		
キュウベえ	P 好奇心	N 隔意		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:キュマイラ	2	2	メジャー			シンドローム		
効果: C値を-Lv(下限値7)								
鬼の一撃	1	2	メジャー			白兵		
効果: ガードを行ったキャラクターへのダメージ+[Lv×5]								
完全獣化	1	5	マイナー		自身			
効果: このシーンの間、【肉体】の能力値を使用したあらゆる判定のダイスを+(Lv+2)個する。ただし、このエフェクトが持続している間、素手を除くアイテムは全て装備、使用不可となる。								
氷盾	3	2	オート	至近	自身			
効果: ガード値+[Lv×5]								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身			
効果: 戦闘移動 Lv/シーン								
白熱	1	3	マイナー	至近	自身			
効果: 素手データ変更								
巨人の生命	3		常時					
効果: 最大HP+[Lv×5]、基本侵蝕率+3								
熱感知知覚	★							
効果:								
体型維持	★		常時	至近	自身			
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「うう……呑み過ぎた……。水、水……」
「大丈夫大丈夫！身体だけは丈夫だからさ。どうにかなるって！」

UGNエージェントとして活動をしている女性。
主な任務は戦闘。異形の腕を振るって相手の力を振りとる。最近の悩みは服がすぐ駄目になる事。
性格は明るくて気さく。表情も大体いつも笑顔。酒癖が悪くて絡み酒。二日酔いがデフォルト。
実際は酔ってない。
感性は人間だけど能力がかなり強いので、意識して人間らしい行動をしている。

鬼の末裔の一族と言われており、実際に親族には体格に恵まれている者が多くいた。
中でも角が生えてきた者は見た目以上の怪力や治癒能力を有している事が確認されていたが、現在では彼らはオーヴァードであったと推測されている。
雪路自身も同じ様に怪力を振るえるが、彼らとは違い角は確認されていない。
力が特別強く、意識していないとすぐに物を壊す。そのせいもあってか、自ら作り出す氷に縛られることもない。

鬼城では、角が生えてきた者は『先祖返り』と呼ばれ当主に選ばれたり、本家に引き取られて保護や教育を受けるが、雪路は角が出現しないまま力だけを振るえている状態なので、本家の一部の人間からは"角なし"と侮蔑されている。
それでも力があり、戦う能力もあったので『先祖返り』の者たちの練習相手として呼ばれるなど、それなりに交流はあった。
だが13歳の頃にある事件を起こしてしまい、現在は絶縁状態となっている。

本来は『鬼城』という名であるが本家筋ではない為、字を変えた『木城』を名乗っている。

熱を操る能力にもそれなりに長けているので、普段はあまり筋力を振るわないように体温を下げているが、戦闘時は全身に熱を巡らせて戦う。